

# インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.185

2017年11月27日

発行所 兵庫教育文化研究所

〒650-0004

神戸市中央区中山手通4-10-8

## 学校施設・設備を見学して 学校事務実践講座

丹波市の小学校で、学校事務実践講座を開催しました。学校事務職員の標準職務に示されている「学校施設等環境を整備、維持するための領域」について、実際に学校施設・設備を見学し、維持管理等施設に関する知識の習得と学校事務職員としてのかかわり方を考えました。

会場校は、統廃合により今年度開校し活動がはじまった学校です。午前の実践発表では統廃合による施設・設備に係る動きにかかわってきた学校事務職員から、旧校舎の改修、管理備品の移管や引越作業等についての経緯や、苦労した点についてお話いただきました。

学校施設の特徴的な点として、校内のいたるところに丹波市産の木材が使われ、木のベンチや書庫、ロッカーなど木のぬくもりを感じ、楽しく学校生活ができる「みんなの学校」、夜間換気機能・ペアガラス・太陽光発電・LED照明をとりいれた「エコスクール」、かまどベンチ・マンホールトイレ・蓄電池による照明などの避難所機能を備えた「安全・安心な学校」が挙げられます。

また、校内に自然光をとり入れるために、大きなガラス窓を使用しているほか、東西の階段を青色と夕色に色分けし、非常時に低学年の子どもたちを避難誘導しやすいように工夫しているそうです。



学校事務職員として、備品を選定・移管するのにあたっては、近隣の市のとりくみを参考に、「備品ツアー」を計画し、すべての教職員のかかわりのもとで準備をすすめてきたそうです。それをもとに、引越作業の計画を立案し、市教委や業者との調整をおこなったり、すべての教職員に現在の進行状況が共有できるように、「事務職員部会報」を発行したそうです。すべての教職員が同じ方向をむいて前向きにとりくんでいるので、いいスタートが切れたが、今後統合調整加配がなくなる中で不安を感じる部分もある、と報告されました。

参加者で施設見学を終えた後、4つのグループに分かれて、班別協議がおこなわれました。「子どもたちが通いたくなる」という子ども・保護者・地域の視点、「指導がしやすい」という教職員の視点、「維持・管理しやすい」という学校事務職員の視点、それぞれの視点から自分の勤務校と比べながら意見を交流しました。さらに標準職務通知の学校施設等環境を整備、推進するための領域について実践していきたいことを交流し、実践講座を終えました。

